

3月定例議会

行政報告 (1)

平成22年3月定例議会は、2月23日に開会、3月5日までの会期中で開かれています。議会初日には、施政方針と上程された各議案の大綱質疑、また2月25日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会で付託された議案を審議し、最終日に採決が行われます。3月定例議会の行政報告についてお知らせします。

総務部関係

■総務課

災害時の避難所について、場所等の状況を再確認したうえで避難所看板を全152カ所のうち47カ所に新設し、既設分と合わせ57カ所に設置しています。

1月に入り降雪量が多くなり「北秋田市災害警戒部」を設置いたしました。積雪量は減少していますが、引き続き建物及び農業施設の崩壊等を警戒しています。

■総合政策課

「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」の関連予算は、防犯灯更新事業や高齢者福祉施設改修整備事業などが完了し、年度実績は7億3300万円規模を見込んでおり、地域情報通信基盤整備推進事業等の9億3400万円規模の事業は、平成22年度への繰越が見込まれます。



▲市民ら約200人が参加した移動行政懇話会（鷹巣会場）

市内4地区で移動行政懇話会を開催し、延べ200人余りが参加し、各地区とも熱心な意見交換が行われ、貴重なご意見をいただきました。行政改革大綱に基づき、自主財源の確保を図るため、広報等への広告掲載事業を22年度から実施の予定ですが、試行として市のホームページへのバナー広告掲載をスタートさせました。6事業者のバナーを掲載

しており、5万4000円の収入です。

市のバイオマス事業化計画は、バイオマス利用可能量、バイオマス製品・エネルギー需要量等の調査を行い、第2回事業化計画策定委員会に報告しています。

■内陸線再生支援室

秋田内陸線は、国の制度による公有民営化を検討してきましたが、秋田県、北秋田市、仙北市、内陸線の4者による協議の結果、公有民営化の導入は見送ることとなりました。これにかわる支援方式を協議検討し、4者で新たな合意が図られ、秋田内陸線20周年記念式典で「秋田内陸線の持続的運行に係る4者合意」の調印が行われました。

財務部関係

■財政課

平成21年11月1日から平成22年1月25日までの工事等発注状況（500万円以上）は27件、契約額は4億1372万5000円です。

市民生活部関係

■総合窓口課

平成21年12月末日現在の住民登録者数は、3万7769人で、その内訳は、男1万7775人、女1万9994人、世帯数は1万4593世帯

です。

一般旅券（バスポート）の交付件数は、89件（12月末現在）です。

国民健康保険では、健康推進課で実施している各種インフルエンザ予防接種で対象外となっている被保険者にも支援の輪を広げています。季節型インフルエンザは12月末現在で延べ921人へ138万1000円を補助しています。また、新型インフルエンザの予防接種は、延べ87人で13万5000円を補助しています。

■生活課

北秋田地区交通・防犯指導隊連合会安全祈願祭及び観閲式が行われ、北秋田市長、上小阿仁村長、北秋田警察署長から査閲を受けました。指導隊、警察署等関係団体と連携した活動を行い、市民の交通安全の確保や安全・安心なまちづくりに努めます。

防犯街灯低電力化・照度アップ事業は、自治会・町内会等が管理する街灯のうち1372基の工事を完了しました。今後も、従来からの北秋田市防犯街灯設置費補助金の交付により、自治会・町内会等地域内の整備を支援します。

クリーンリサイクルセンターのダクトイオキシソックス類等排出量の分析結果は、1、2号炉とも基準値の10ナノグラムを下回っています。

健康福祉部関係

■福祉課

平成22年度の市内11認可保育園への入園申込みは、1月18日現在で881人の申込みがあり、2月に入園審査と入園決定を行います。

北秋田市ハートフル倶楽部の出合いの集いが、大館能代空港ターミナルビルで行われ、26人（男性16人、女性10人）が参加し、4組のカップルが誕生しました。

「北秋田市災害時要援護者避難支援制度」の受付を開始し、1月末現在で53件の申請がありました。

■高齢福祉課

福祉の雪事業の登録者は1月22日現在で1072世帯です。
高齢一人暮らし世帯は691世帯、高齢者のみの世帯は339世帯、その他の世帯は42世帯で、出入り口の雪よせを希望している世帯は470世帯です。12月の利用は実件数329件、延件数1559件です。

■地域包括支援センター

介護予防事業への参加者は12月末現在74人です。要支援認定者を対象とした介護予防サービスは月平均340人の方が利用しています。
総合相談は12月末現在、延べ560件の相談があり、その内権利擁護

に関する相談は162件です。

■医療推進課

市民病院の一般公開が行われ、管理部門や手術室などほぼ全ての部屋を公開したこともあり、3日間で約4000人の見学者が訪れました。



▲3日間で4000人の見学者が訪れた北秋田市民病院の一般公開

■健康推進課

成人検診事業は、12月末現在で特定健康診査の結果、動機づけ支援対象者は287人、積極的支援対象者は77人です。特定保健指導実施者数は動機づけ34人、積極的支援7人の合わせて41人を実施しています。女性特有のがん検診対策は子宮頸がん166人、乳がん358人の受診です。

心の健康づくり・自殺予防事業は、「いのちのこころのシンポジウム」



▲出産を迎えるため、理解を深めるマタニティ講座に33組の夫婦が参加

を開催し、2000人の参加がありました。対面型相談支援事業は1回平均2名の相談があり、うつ病・産後うつ症状・社会不適應等に悩む方々に対応しています。
肺炎球菌ワクチン予防接種は、12月末現在で354人、インフルエンザ定期予防接種は、12月末現在で5956人が接種を受けており、それぞれ接種費用の一部を助成しています。MRワクチン予防接種は、12月末現在で859人が接種を受けています。

新型インフルエンザ対策は、集団接種対象とした1歳から中学校3年生までの接種者数は延べ2759人です。また、12月に6日間、臨時開設した発熱外来センターの受診状況

は受診者数74人、うちA型の陽性者数は42人です。

母子保健事業は、母子健康手帳交付数が12月末で142人、母体健康増進事業の妊婦健診受診券も併せて交付しています。出産を迎える夫婦のマタニティ講座にも33組66人が受講しました。

フッ素洗口事業は、保護者説明会が保育園、小・中学校とも終了し、保育園では10月から開始され、小・中学校では、2月末までに開始する予定です。

■国民健康保険合川診療所

12月末までの外来患者総数は、1万453人で、その内訳は、国民健康保険加入者2004人、社会保険加入者975人、後期高齢者医療保険加入者7266人、その他208人で、前年同期比で160人の減少です。

■阿仁診療所

平成21年度の決算見込みは、病院事業全体の収益がおよそ3億9500万円、前年度決算額との比較で約2900万円の減少となる見通しです。支出額は3億9300万円ほどとなり、単年度収支額でおよそ200万円の利益の計上が見込まれます。